

□9月14日説教(隅野徹牧師)短縮版
「天の国のことを学んだ者」(マタイ13:44～52)

イエスは弟子たちにたとえを語られました。畑に隠された宝を見つけた人は、持ち物をすっかり売り払ってその畑を買うというたとえ、そしてよいものを血まなこになって探す真珠の商人のたとえによって、天の国は一生かけて探すだけの、尊い価値のあるものだと言われました。その上で「あなたがたはこれらのことがみな分かったか」と尋ねられ、弟子たちは「分かりました」と答えたのです。

弟子たちは、群衆よりも頭が良かったわけではありません。群衆よりも善良な、正しい人たちだったのでもありません。弟子たちが天の国の秘密を悟ることができたのは、ただ一方的なイエスの憐れみです。しかし彼らが驚くべき力を得たのだということが、52節以下の譬えで教えられるのです。彼らが熱心だったからではなく、イエスが、神が彼らを招いて下さったからです。特別に立派な人でもなければ信仰熱心でもない、全く普通の人であった彼らを神がお選びになり、一人ひとりの名を呼んで、「わたしに従ってきなさい」と声をかけて下さいました。その神の招きによって彼らは、隠された宝を手に入れるためにキリストの弟子となったのです。

ここに集っている私たち一人一人も、同じ神の選びと招きを受けています。神が私たちを多くの人々の中から選び、教会へと、礼拝へと導いて下さったのです。そして隠された宝を見出させて下さったのです。だから私たちも立ち上がって、真剣にこの宝を手に入れようとする。それが、洗礼を受けて教会に加えられ、信仰者となるということです。そのことによって私たちもキリストの弟子となり、天の国の秘密を悟る者となるのです。(終)